

2023 年度金沢大学「人文社会科学における法（法政基礎論 B）」（人社学域 GS 科目）

小テスト解答（2023 年 12 月 19 WebClass で実施）

足立英彦（法理学）出題分

1. 次の選択肢のうち、誤っているものを一つ選べ。（2 点）
 - (a) 法理学は法哲学ともいう（法理学と法哲学は同じ学問分野である）。
 - (b) 法理学の間は「法とは何か？」である。
 - (c) 法理学の対象は、時代や場所によって異なる、法の本質的な部分である。
 - (d) 法学は基礎法学と応用法学に分けられる。

解答 (d)

解説 法学は基礎法学と実定法学に分けられる。

2. 次の選択肢のうち、誤っているものを一つ選べ。（2 点）
 - (a) 規範とは、規範文の意味内容である。
 - (b) \diamond は必然性を、 \triangle は可能性を意味する記号である。
 - (c) O は義務を、 P は許可を表す記号である。
 - (d) 様相は、文に対する話者や書き手の態度を表す。

解答 (b)

解説 \square は必然性を、 \diamond は可能性を意味する記号である。

3. 次の選択肢のうち、誤っているものを一つ選べ。（2 点）
 - (a) 現実世界も可能世界である。
 - (b) 「必ず雪が降る」ならば、「雪は降る」。
 - (c) 「車は道路の左側を走行しなければならない」ならば、「車は道路の左側を走行する」。
 - (d) 自然科学の仮説は実験や観察によって否定されることがある。

解答 (c)

解説 規範は現実世界の記述を含まない。「車は道路の左側を通行しなければならない」という規範があっても、その規範に従わずに右側を走行する車もあるだろう。

4. 「自動車通学が許されている」が真の場合、次の選択肢のうち、誤っているものを一つ選べ。（2 点）
 - (a) 「自動車通学をしないことが義務づけられていない」は真。
 - (b) 「自動車通学をしないことが許されている」は偽。
 - (c) 「自動車通学が義務づけられている」は真偽不明。
 - (d) 「自動車通学が許されていない」は偽。

解答 (b)

解説

(a) 問の「自動車通学が許されている」(PA) は「自動車通学をしないことが義務づけられていない」($\neg O\neg A$) と同値（同じ意味）。したがって一方が真なら他方も真。

- (b) PA は $P \rightarrow A$ と小反対の関係。一方が真なら他方は真偽不明。
- (c) OA は PA を含意する。後者が真なら前者は真偽不明。
- (d) PA と $\neg PA$ は否定の関係。一方が真なら他方は偽。

5. 宗教を信じる自由がある国についての次の発言のうち、誤っているものを一つ選べ。(2点)

- (a) 宗教を信じるのが義務づけられていない。
- (b) 宗教を信じないのが義務づけられていない。
- (c) 宗教を信じるのが許されていない。
- (d) 宗教を信じないのが許されている。

解答 (c)

解説

- (a) 「宗教を信じる自由がある」($PA \wedge P \rightarrow A$) は「宗教を信じるのが義務づけられていない」($\neg OA$ すなわち $P \rightarrow A$) を含意する。前者が真なら後者も真。
- (b) $PA \wedge P \rightarrow A$ は $\neg O \rightarrow A$ 「宗教を信じないのが義務づけられていない」(すなわち PA) を含意する。前者が真なら後者も真。
- (c) $PA \wedge P \rightarrow A$ と $\neg PA$ 「宗教を信じるのが許されていない」(すなわち $O \rightarrow A$) は反対の関係。一方が真なら他方は偽。
- (d) $PA \wedge P \rightarrow A$ は $P \rightarrow A$ 「宗教を信じないのが許されている」を含意する。前者が真なら後者も真。なお、(a) と (d) は同じ意味の文である。

6. 次の選択肢のうち、誤っているものを一つ選べ。(2点)

- (a) 不可能なことでも義務づけられる。
- (b) 必ず雨が降るならば雨が降ることは可能だ。
- (c) 「雨が降ることが可能だ」と「雨が降らないことは必然的ではない」は同じこと(意味)である。
- (d) $\Box A$ と $\Box \neg A$ が同時に真であることはない。

解答 (a)

解説 (a) 不可能なことは義務づけられない。(d) $\Box A$ と $\Box \neg A$ は反対の関係。したがって両者が同時に真であることはない。

7. 次の空欄を埋めよ。(文字はすべて漢字)(4点)

- (a) 作為義務と自由は()の関係にある。
- (b) 作為許可と不自由は()の関係にある。
- (c) 作為義務は不自由を()する
- (d) 作為義務と不作為許可は()の関係にある。

解答 (a) 反対 (b) 小反対 (c) 含意 (d) 否定

8. 法規範の正しさに関する次の文の空欄を埋めよ。(文字は全て漢字)(2点)

「第一に、互いに両立しない法規範は、どちらか一方を不正とみなすべきである。第二に、法

規範を定める（ a ）のない者が定めた規範は、法規範としては認められない。第三に、これは論者によって立場が分かれるが、あまりに（ b ）に反する規範は、法規範としては認められない。

解答 (a) 権限 (b) 正義

9. 次の選択肢のうち、誤っているものを一つ選べ。(2点)

- (a) 「何が正義か」という問に対する多様な答えを「正義構想」(conceptions of justice) と呼ぶ。
- (b) 様々な正義構想が共有する観念を「正義概念」(the concept of justice) と呼ぶ。
- (c) アリストテレスは狭義の正義を分配的正義と平均的(是正的)正義とに分けた。
- (d) アリストテレスの平均的正義は、さらに交換的正义と匡正(矯正)的正义に分けることができる。

解答 (a)

解説 (a) は「何が正義か」ではなく「正義とは何か」である。

10. 次の選択肢のうち、誤っているものを一つ選べ。(2点)

- (a) 平均的正义は「等しき(い)者を等しく扱う」ことを求める。
- (b) 交換的正义は、売買や交換において引き渡される物や貨幣の価値が等しいことを求める。
- (c) 匡(矯)正的正义は、犯罪や不法行為において罪と罰、損害と賠償の価値が等しいことを求める。
- (d) 分配的正义は、それを実現するために必要となる法規範の形式を定めるが、その内容までは定めない。

解答 (a)

解説 (a) は平均的正义ではなく分配的正义。

11. つぎの文の空欄を埋めなさい。(文字は全て漢字)(3点)

基本権侵害を伴う法律の目的に対してその法律が定める法的効果が（ a ）的であり、（ b ）であり、かつ（ c ）しいと判断される場合、その法律は合憲であり、不（ 1 ）、不（ 2 ）、または不（ 3 ）と判断される場合は違憲である。

解答 (a) 適合 (b) 必要 (c) 相応

12. この授業(12月12, 19日)の感想(納得した点、驚いた点、疑問に思う点、難しく理解できなかった点など)や改善提案等を記入して下さい。(任意)

回答 一回目の授業の内容、とくに可能・理想世界や否定・反対・小反対・含意の関係は難しく、二回目の正義や比例原則は分かりやすかったというご意見が多かったです。昨年度も同様のご意見が多数あり、今回は一回目に練習問題を追加したりしてより丁寧な授業を心掛けつつもりでしたが、不十分だったようです。来年度はさらに改善したいと思います。

参考情報（2023年12月19日現在）

- 小テスト結果（追試受験予定者を除く）

履修登録数	受験者数	平均点（25点満点）
201	183	17.7

25点13名、24点6名